

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年11月12日

【四半期会計期間】 第97期第3四半期(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

【会社名】 東京都競馬株式会社

【英訳名】 TOKYOTOKEIBA CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 中西 充

【本店の所在の場所】 東京都大田区大森北一丁目6番8号

【電話番号】 03(5767)9055

【事務連絡者氏名】 取締役総務部長 高倉 和 仁
財務部長 平 田 賢 一

【最寄りの連絡場所】 東京都大田区大森北一丁目6番8号

【電話番号】 03(5767)9055

【事務連絡者氏名】 取締役総務部長 高倉 和 仁
財務部長 平 田 賢 一

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第96期 第3四半期 連結累計期間	第97期 第3四半期 連結累計期間	第96期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年9月30日	自 2020年1月1日 至 2020年9月30日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高 (千円)	18,608,628	21,025,334	24,836,619
経常利益 (千円)	6,237,632	8,402,900	8,009,278
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	4,125,486	5,541,503	5,200,612
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	4,157,376	5,410,418	5,261,085
純資産額 (千円)	65,892,318	70,821,781	66,992,435
総資産額 (千円)	92,086,179	97,183,326	93,943,918
1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	144.46	194.07	182.11
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	71.6	72.9	71.3

回次	第96期 第3四半期 連結会計期間	第97期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日	自 2020年7月1日 至 2020年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	74.95	83.92

- (注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

(新型コロナウイルス感染拡大による影響について)

2020年1月以降に顕在化した新型コロナウイルス感染拡大については、5月の緊急事態宣言解除後は経済活動が徐々に再開しているものの、先行きは依然として不透明であり、早期の収束が見通せない状況にあります。

今後も、感染状況に伴い当社グループが管理・運営する各施設における稼働の停止・縮小を余儀なくされる状況が続いた場合、当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなど緩やかな回復基調で推移しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により経済活動が停滞し、厳しい状況となりました。先行きにつきましても、新型コロナウイルス感染症の収束時期の見通しが立たないことに加え、米中貿易摩擦の長期化などにより世界経済においても不透明な状況が続くことが予想されます。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、東京サマーランドの休園期間を7月2日まで延長したことや営業再開後も感染拡大防止策として入場制限を実施したことにより、遊園地事業の業績は厳しい状況で推移いたしました。S P A T 4（南関東4競馬場在宅投票システム）を中心とした公営競技事業の売上が前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は21,025百万円（前年同期比13.0%増）、営業利益は8,315百万円（同33.6%増）、経常利益は8,402百万円（同34.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,541百万円（同34.3%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

区 分	売上高		セグメント利益又は セグメント損失()	
	金額(百万円)	前年同期増減比	金額(百万円)	前年同期増減比
公営競技事業	15,112	34.8%	7,285	61.2%
遊園地事業	1,085	55.7%	709	
倉庫賃貸事業	3,620	2.3%	2,305	2.8%
サービス事業	1,352	15.5%	302	22.8%
セグメント間取引の消去等	145		868	
合 計	21,025	13.0%	8,315	33.6%

[公営競技事業]

大井競馬は72日開催され、浦和競馬、船橋競馬、川崎競馬の大井場外発売は計28日、その他各地方競馬の広域大井場外発売が109レース実施されました。

S P A T 4では、各地方競馬の発売が延べ951日、10,968レース実施されました。

この間、お客様の利便性とサービスの向上を図るため、南関東4競馬場公式ウェブサイト「nankankeiba.com」及びS P A T 4プレミアムポイントサイトのリニューアルを実施いたしました。

大井競馬場におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、2月27日以降、無観客での競馬が開催されておりましたが、感染防止対策を徹底したうえで、9月7日より入場者数を限定し、有観客での開催が再開されました。

また、イルミネーションイベント「東京メガイルミ 2019-2020」につきましては、2月24日をもって終了し、10月24日より新たに「東京メガイルミ 2020-2021」がスタートしております。

伊勢崎オートレースは87日開催され、他場の場外発売は延べ119日実施されました。

この間、伊勢崎オートレース場におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、3月4日より無観客でのオートレースが開催され、その間は在宅投票のみの発売となりましたが、6月29日より有観客での開催が再開されました。

また、オートレース場内に併設されている南関東4競馬などの地方競馬を発売する「オフト伊勢崎」、中央競馬を発売する「J - P L A C E伊勢崎」につきましては、2月27日以降営業を休止しておりましたが、7月10日より「オフト伊勢崎」、9月12日より「J - P L A C E伊勢崎」の営業をそれぞれ再開しております。

以上の結果、大井競馬、伊勢崎オートレースの無観客開催及び関連施設の営業休止等があったものの、インターネット投票であるS P A T 4の売上が伸長したことから、公営競技事業の売上高は15,112百万円（前年同期比34.8%増）、セグメント利益は7,285百万円（同61.2%増）となりました。

[遊園地事業]

園内整備等に伴う冬季休園期間を経て、当初3月1日より営業再開を予定しておりました東京サマーランドにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、プール・遊園地エリアの休園期間を延長しておりましたが、政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」を踏まえて作成された「遊園地・テーマパークにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に則り、感染防止対策を徹底するとともに、事前購入が必要となる「来園日指定チケット（日付指定券）」を導入するなど来園者の人数を制限したうえで、7月3日より順次営業を再開いたしました。

また、アウトドア複合施設「Wonderful Nature Village（わんだふるネイチャーヴィレッジ）」やゴルフ練習場につきましても、一定の期間、営業を見合わせておりましたが、共用部分の消毒液による拭き上げなど、感染防止対策を強化したうえで、4月18日より段階的に営業を再開し、6月1日より通常営業を開始しております。

以上の結果、東京サマーランド及び各施設の入場人員は前年同期比56.9%減となる31万人となり、遊園地事業の売上高は1,085百万円（前年同期比55.7%減）、セグメント損失は709百万円（前年同期はセグメント損失71百万円）となりました。

[倉庫賃貸事業]

勝島地区既存倉庫1棟の建替え工事につきましては、解体工事が完了し、4月より免震構造を取り入れた新倉庫の建設を進めております。

また、賃貸料収入は、千葉県習志野市に建設した「習志野茜浜倉庫」が昨年4月より稼働を開始したことに伴い増加いたしました。

以上の結果、倉庫賃貸事業の売上高は3,620百万円（前年同期比2.3%増）、セグメント利益は2,305百万円（同2.8%増）となりました。

[サービス事業]

オフィスビル「ウィラ大森ビル」において安定的な収益確保に努めましたが、大井競馬場前ショッピングモール「ウィラ大井」の一部テナントとの契約変更に伴う賃貸料の減額、空調設備工事につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初の予定案件が延期や中止となったことなどから、売上は前年同期を下回りました。

以上の結果、サービス事業の売上高は1,352百万円（前年同期比15.5%減）、セグメント利益は302百万円（同22.8%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ3,239百万円増加し、97,183百万円となりました。これは、減価償却等により有形固定資産が1,696百万円減少したものの、SPAT4のリニューアル等により無形固定資産が587百万円増加したことに加え、受取手形及び営業未収入金が512百万円、現金及び預金が3,644百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ589百万円減少し、26,361百万円となりました。これは、未払法人税等が316百万円、未払消費税等が668百万円それぞれ増加したものの、工事代金の支払い等により未払金が550百万円、支払手形及び営業未払金が232百万円、長期借入金が750百万円それぞれ減少したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ3,829百万円増加し、70,821百万円となりました。これは、期末配当金及び中間配当金1,570百万円の支払いと、親会社株主に帰属する四半期純利益5,541百万円の計上により、利益剰余金が3,970百万円増加したことが主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の71.3%から72.9%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 主要な設備

重要な設備計画の完了

前連結会計年度末に計画していた重要な設備の新設のうち、当第3四半期連結累計期間において完了したものは次のとおりであります。

会社名	所在地	設備の内容 (セグメントの 名称)	完了年月	取得価額(千円)						
				建物及び 構築物	建物附属 設備	機械装置 及び運搬具	土地 (面積千㎡)	ソフト ウェア	その他	合計
東京都競馬(株)	東京都 品川区	大井競馬場 SPAT4システム 改修 (公営競技事業)	2020年3月			10,892		1,059,408		1,070,300
東京都競馬(株)	東京都 あきる野市	東京サマーランド 入園管理システム 整備 (遊園地事業)	2020年7月	2,740		78,927		72,853	582	155,103

(注) 上記の金額には消費税等を含めておりません。

重要な設備投資の新設等

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2020年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	28,764,854	28,764,854	東京証券取引所 (市場第一部)	・権利内容に何ら限定のない 当社における標準となる株式 ・単元株式数 100株
計	28,764,854	28,764,854		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年7月1日～ 2020年9月30日		28,764,854		10,586,297		6,857,668

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日（2020年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 210,600		
完全議決権株式(その他)	普通株式 28,380,500	283,805	
単元未満株式	普通株式 173,754		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	28,764,854		
総株主の議決権		283,805	

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、株式会社証券保管振替機構名義の株式700株(議決権7個)が含まれております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式4株が含まれております。

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 東京都競馬株式会社	東京都大田区大森北 一丁目6番8号	210,600		210,600	0.73
計		210,600		210,600	0.73

(注) 株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が100株(議決権1個)あります。

なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の中に含まれております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年7月1日から2020年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人日本橋事務所による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,170,658	14,814,698
受取手形及び営業未収入金	3,004,377	3,517,005
有価証券	2,577,231	3,077,081
たな卸資産	97,618	200,657
立替金	176,835	177,568
その他	443,793	115,709
流動資産合計	17,470,514	21,902,720
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	22,798,392	21,996,885
建物附属設備（純額）	5,540,608	5,174,614
構築物（純額）	7,305,151	6,874,822
機械装置及び運搬具（純額）	3,665,064	3,257,575
土地	26,525,642	26,525,642
建設仮勘定	173,014	617,054
信託建物（純額）	1,486,789	1,440,173
信託建物附属設備（純額）	219,456	201,731
信託土地	2,174,126	2,174,126
その他（純額）	614,134	543,615
有形固定資産合計	70,502,381	68,806,242
無形固定資産		
ソフトウェア	2,126,869	2,742,968
のれん	28,451	-
その他	13,145	12,807
無形固定資産合計	2,168,466	2,755,775
投資その他の資産		
投資有価証券	2,204,793	1,988,239
長期前払費用	134,329	221,988
繰延税金資産	519,802	731,689
長期立替金	842,163	673,730
その他	101,467	102,939
投資その他の資産合計	3,802,557	3,718,588
固定資産合計	76,473,404	75,280,606
資産合計	93,943,918	97,183,326

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	793,063	560,700
短期借入金	41,200	66,400
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	1,000,000
未払金	879,707	329,013
未払法人税等	1,504,653	1,821,473
未払消費税等	251,323	919,907
賞与引当金	48,546	188,007
ポイント引当金	442,935	610,945
災害損失引当金	47,034	-
その他	1,069,318	913,755
流動負債合計	6,077,781	6,410,203
固定負債		
社債	10,000,000	10,000,000
長期借入金	7,000,000	6,250,000
長期預り金	1,943,922	1,997,995
退職給付に係る負債	1,156,824	1,173,752
資産除去債務	383,222	387,359
その他	389,734	142,234
固定負債合計	20,873,702	19,951,341
負債合計	26,951,483	26,361,545
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,586,297	10,586,297
資本剰余金	6,857,668	6,857,668
利益剰余金	49,564,952	53,535,930
自己株式	459,828	470,375
株主資本合計	66,549,089	70,509,520
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	443,346	312,261
その他の包括利益累計額合計	443,346	312,261
純資産合計	66,992,435	70,821,781
負債純資産合計	93,943,918	97,183,326

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	18,608,628	21,025,334
売上原価	11,099,994	11,393,579
売上総利益	7,508,633	9,631,755
販売費及び一般管理費	1,285,672	1,316,121
営業利益	6,222,961	8,315,634
営業外収益		
受取利息	8,097	5,022
受取配当金	16,001	17,526
線下補償料	6,102	6,102
受取保険金	33	43,174
その他	9,255	46,505
営業外収益合計	39,491	118,331
営業外費用		
支払利息	24,723	23,503
その他	96	7,560
営業外費用合計	24,819	31,064
経常利益	6,237,632	8,402,900
特別利益		
補助金収入	132,935	-
違約金収入	7,500	-
特別利益合計	140,435	-
特別損失		
固定資産除却損	485,098	-
固定資産撤去費用	-	239,200
投資有価証券評価損	-	29,859
その他	1,420	-
特別損失合計	486,518	269,059
税金等調整前四半期純利益	5,891,549	8,133,841
法人税、住民税及び事業税	1,770,296	2,744,217
法人税等調整額	4,233	151,879
法人税等合計	1,766,062	2,592,338
四半期純利益	4,125,486	5,541,503
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,125,486	5,541,503

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	4,125,486	5,541,503
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,890	131,084
その他の包括利益合計	31,890	131,084
四半期包括利益	4,157,376	5,410,418
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,157,376	5,410,418
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

当社グループでは、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等に係る会計上の見積りは、四半期連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。

新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響は、収束時期の見通しが不透明な状況であり、事業によってその影響や程度が異なるものの、会計上の見積りについては当連結会計年度末にかけて徐々に回復に向かうものと仮定しております。

(四半期連結損益計算書関係)

(売上高等の季節的変動)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

当社グループの遊園地事業は、屋外プール営業期間中(夏季)に年間入場者数の大半を集客するため、年間に占める第3四半期連結会計期間の売上高及び売上原価が著しく増加する傾向にあります。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

当社グループの遊園地事業は、屋外プール営業期間中(夏季)に年間入場者数の大半を集客するため、年間に占める第3四半期連結会計期間の売上高及び売上原価が著しく増加する傾向にあります。

ただし、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた来園者の人数制限により、当第3四半期連結会計期間の遊園地事業の業績に影響が生じております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
減価償却費	2,921,985千円	3,263,502千円
のれん償却額	28,451千円	28,451千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月27日 定時株主総会	普通株式	856,768	30.00	2018年12月31日	2019年3月28日	利益剰余金
2019年7月31日 取締役会	普通株式	571,143	20.00	2019年6月30日	2019年9月2日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額30円には、会社創立70周年記念配当10円を含んでおります。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
 後となるもの
 該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月26日 定時株主総会	普通株式	856,668	30.00	2019年12月31日	2020年3月27日	利益剰余金
2020年7月31日 取締役会	普通株式	713,856	25.00	2020年6月30日	2020年9月1日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
 後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公営競技 事業	遊園地事業	倉庫賃貸 事業	サービス 事業	計		
売 上 高							
外部顧客への売上高	11,211,018	2,447,848	3,535,224	1,414,537	18,608,628	-	18,608,628
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,298	2,168	3,820	186,303	194,591	194,591	-
計	11,213,317	2,450,016	3,539,044	1,600,840	18,803,220	194,591	18,608,628
セグメント利益又は セグメント損失()	4,519,774	71,425	2,242,722	391,260	7,082,331	859,370	6,222,961

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額 859,370千円には、セグメント間取引消去 28,088千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 831,282千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公営競技 事業	遊園地事業	倉庫賃貸 事業	サービス 事業	計		
売 上 高							
外部顧客への売上高	15,110,906	1,085,483	3,614,594	1,214,350	21,025,334	-	21,025,334
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,585	512	5,730	137,942	145,771	145,771	-
計	15,112,491	1,085,996	3,620,324	1,352,292	21,171,105	145,771	21,025,334
セグメント利益又は セグメント損失()	7,285,665	709,156	2,305,480	302,182	9,184,171	868,537	8,315,634

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額 868,537千円には、セグメント間取引消去 7,756千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 860,781千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり四半期純利益	144円46銭	194円07銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	4,125,486	5,541,503
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	4,125,486	5,541,503
普通株式の期中平均株式数(株)	28,557,747	28,554,497

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

当期中間配当については、2020年7月31日開催の取締役会において、2020年6月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり行うことを決議いたしました。

・普通株式の配当に関する事項

配当金の総額 713,856千円
 1株当たりの金額 25円00銭
 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 2020年9月1日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年11月12日

東京都競馬株式会社
取締役会 御中

監査法人日本橋事務所

指定社員 業務執行社員	公認会計士	遠	藤	洋	一	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	森	岡	健	二	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	高	橋	秀	和	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている東京都競馬株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2020年7月1日から2020年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、東京都競馬株式会社及び連結子会社の2020年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。